

# 令和2年度特科隊訓練検閲



(発行所)  
11特OB会

(連絡先)

札幌市南区  
真駒内17番地

第11特科隊  
広報援護室  
TEL (011)-581-3191  
内線2645

(印刷)  
札幌造型合同会社

## 隊長要望事項

## 生き残り戦い続けよ

## 予測して排除せよ



▲陣地進入する99式自走155mmりゅう弾砲



▲あらゆる脅威下での指揮所活動



▲応急出動準備



▲統裁官訓示受け



### 主な記事

二面 令和2年度第1回隊訓練  
 三面 令和2年度第2回隊訓練、令和2年度演習場春季定期整備  
 四面 令和2年度通信競技会、第137期陸曹候補生課程履修前教育総合訓練  
 五面 表彰者の紹介、11特OB会新隊員への激励品の贈呈  
 六面 昇任者・転出者・新着任副隊長・転入者紹介



▲陣地進入する99式弾薬給弾車



▲防御陣地での火力戦闘

隊は、令和2年6月19日から6月28日までの間、真駒内駐屯地、真駒内・安平弾薬支処及び北海道大演習場(島松地区・恵庭地区・千歳地区)において、令和2年度特科隊訓練検閲を受閲した。

本訓練検閲は、応急出動準備から、陣地防御における特科隊の行動という想定の下で実施された。

当初、真駒内駐屯地において、応急出動準備を完了するとともに、作戦行動開始に向けた隊長訓示を行い、隊長は「生き残り戦い続けよ」「予測して排除せよ」の2点を要望事項として述べたほか、最後には、旅団長統率方針である「即応・持続・必遂」を全隊員で唱和して、隊一丸となつて決意を表明して、部隊の士気を鼓舞した。

その後、北海道大演習場へ向け機動して、集結地の占領を行うとともに、陣地の偵察・選定及び占領に引き続き、各防御陣地を構築し、全ての防御戦闘準備を完了させた。

6月27日からは、旅団の防御戦闘が開始され、情報と機動と火力を連携させ、旅団火力の骨幹として強靱な火力戦闘を実施した。

本検閲間、特科隊は攻めて守らず、全員一丸となり、これまでの訓練成果を遺憾なく発揮して、任務を遂行した。

隊は引き続き隊長を核として機動旅団内特科隊の戦い方を創造しつつ、更なる練度向上への決意を新たにしました。



# 令和2年度第1回隊訓練

隊は、令和2年4月16日から4月19日までの間、北海道大演習場（島松地区・恵庭地区・千歳地区）において、令和2年度第1回隊訓練を行った。

本訓練は、陣地占領訓練（陣地の偵察・選定から陣地占領まで）を演練し、隊の時間に余裕のある場合の陣地占領に係る能力の向上を図る目的で実施したほか、夜間行進訓練及び築城訓練により、基本・基礎に関する練度向上を図った。

陣地占領訓練では、円滑な陣地の偵察・選定、整齊とした主力の陣地進入及び火力戦闘を行い、隊の指揮機関の練度向上及び戦術行動の基礎を確立させた。

夜間行進訓練は、隊の行進命令に基づき、各統制点を通過するとともに、定められた速度を維持しつつ前進し、隊としての行動の練度を向上した。

また、築城訓練では、正確・迅速な経始を始め、効率的な機械操作による防御陣地の構築を行ったほか、若年隊員に対する教育等を実施し、必要な練度の向上を図った。

本訓練は、令和2年度初の隊訓練であったが、隊として数少ない練成の場において、周到な準備と任務に対する強い使命感をもって、数多くの成果を得ることができた。



▲隊長による命令下達



▲徒歩による有線構成



▲気象班の目視観測訓練



▲正確・迅速な経始訓練



▲効率的な機械操作による防御陣地の構築



# 令和2年度 第2回隊訓練

隊は、令和2年5月19日から5月24日までの間、北海道大演習場（島松地区・恵庭地区・千歳地区）において、令和2年度第2回隊訓練を行った。

本訓練は、旅団の陣地防衛における特科隊の行動について、応急出動準備に引き続き、集結地の占領から火力戦闘までを一連の状況下で実施するとともに、各種脅威への対応について演練して、実効性ある応急出動準備及び防衛における練度向上を図る目的で実施した。

応急出動準備では、装備品の準備、残置物品等の移管・目録の作成及び弾薬の受領準備等を行い、応急出動準備態勢を確立するとともに、各種教育により応急出動準備において実施すべき事項について、隊員の認識を統一した。

応急出動準備後は、駐屯地からの車両行進に引き続き、集結地の占領、陣地の偵察・選定、主力の夜間行進・陣地占領、正確・迅速な火力戦闘を実施して、隊の指揮機関、部隊の行動を練成した。

また、陣地占領命令に基づき防御陣地を概成させ、継続的に陣地の強化を図るとともに、対遊撃対処、対空自衛戦闘、第一線救護及び対特殊武器防護等、各種脅威に対する対応行動を練成し、戦闘の終始を通じて敵を意識した行動により、隊長要望事項である「掘って、掘って、生き残り！」、「予測して、排除せよ！」を実践した。

本訓練は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮し、様々な対策を講じるなか、特科隊の士気は高く、隊員それぞれが使命感を持ち、これまでの段階的な訓練及び周到な準備により、一件の事故もなく訓練を終了するとともに、令和2年度特科隊訓練検閲受閲の基礎を確立した。



▲対遊撃対処



▲対空自衛戦闘



▲第一線救護

# 令和2年度 演習場春季定期整備

隊は、令和2年5月8日から5月14日までの間、北海道大演習場等において、令和2年度演習場春季定期整備を実施した。

本演習場整備は、真駒内第2基本射場及び島松地区弾着区域清掃（担任地域）、訓練基盤の充実及び長期安定を図る目的で行われた。

演習場整備間、隊長要望事項「基本・基礎の確行」「心と体の健康管理」の2点の要望事項に基づき、隊員は一丸となり整備を行い、計画的に任務を遂行した。

11日には、真駒内第2基本射場において、隊長から、旅団長に対する状況報告を行ったのち、方面総監による現地指導を頂き、現場の隊員に、方面総監から直々に激励を受けるとともに、方面総監直筆の色紙を手渡され、部隊・隊員の士気が高揚した。

また、隊務の総合一体化の取り組みとして、広帯域多目的無線機の操作習熟訓練を行い、部隊・隊員の能力の向上を図ったほか、若年隊員を長とした整備、射撃中隊の人員による野外炊事を行い、実員指揮能力及び中隊が独立して行動するために必要な野外炊事能力を向上させた。

演習場整備全般を通じ、不発弾搜索等の危険を伴う任務であったが、適切な安全係の配置、適時の安全教育実施及び安全確実な車両運行等により、安全態勢を確立し、最後まで一件の事故もなく任務を完遂した。



▲不発弾搜索（島松地区）



▲野焼き（島松地区）



▲野外炊事



▲方面総監による現地指導



# 令和2年度通信競技会

隊は、令和2年4月14日、真駒内駐屯地において、令和2年度通信競技会を行った。

本競技会は、有線通信能力の向上を図るとともに、団結の強化及び士気の高揚を図る目的で実施された。

競技要領は、各中隊の中隊長指定選手(2名1組)が、状況下における有線構成を実施し、精度点、速度点及び統裁官点の合計点で中隊の順位を競うものであり、各中隊は、競技会の特性を分析して訓練計画を立てるとともに、それぞれの勝ち目を追求し、綿密な作戦を練り、有線通信能力を向上させた。

競技会に先立ち行われた開会式では、平成26年度優勝中隊による力強い選手宣誓に引き続き、統裁官訓示により、「指揮の要訣の実践」、「安全管理」の要望事項が示され、競技会に対する意識が高まるとともに、13日午後からは、オープン参加の部による競技が実施され、隊員達の気持ちを熱く盛り上げた。

競技会当日は、春まだ浅く寒さの残る中での競技となったが、選手達は、中隊の名誉と誇りをかけ、各組長による軽快な指揮のもと有線構成を行うとともに、必通の精神をもって最後まで全力を出し切った。競技の結果は、本部管理中隊が見事優勝を果たしたが、各中隊とも一丸となり、本競技の目的を達成して、一件の事故もなく競技を終えた。



▲表彰式(本部管理中隊)



▲全力疾走による有線構成(第2中隊) ▲有線の埋設(第1中隊)

# 第137期陸曹候補生課程

## 履修前教育総合訓練

隊は、令和2年5月14日から6月10日までの間、第137期陸曹候補生課程履修前教育を実施するとともに、6月4日・5日の両日、北海道大演習場西岡地区において、第10即応機動連隊からの2名を含む陸曹候補生6名に対する総合訓練を行った。

本訓練は、小部隊の指揮官としての状況判断能力及び指揮能力について、教育間に積み上げてきた成果を確認する目的で実施した。

4日、各候補生は、それぞれの職務が与えられ、小隊命令の受領、前衛分隊の行動、集結地の占領及び斥候としての偵察活動等を行うとともに、砂盤による戦術指導及び予行を行った。

5日の早朝からは、隊長、副隊長、最前任上級曹長及び各中隊長等が視察するなか、陸曹候補生が指揮を執り、分隊として勇猛果敢に敵陣地を攻撃して目標を奪取するなど、本教育で培った知識・技能を最大限発揮して、見事任務を完遂した。

総合訓練終了後、隊長から「入校に向けて、引き続き気持ちを切らすことなく精進するように」と訓示を受け、陸曹候補生らは、達成感に満ち溢れ、入校への意気込みを新たにしました。



▲力を振り絞り突撃



▲援護射撃の下ほふく前進



▲分隊に号令を出す分隊長



▲訓練終了後の記念撮影



# ～令和2年度特科隊訓練検閲表彰者の紹介～

## 旅団長メダル受賞者



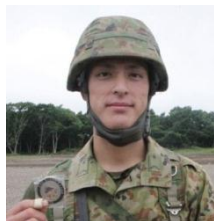
第三中隊



第二中隊



第一中隊



本部管理中隊 柴田三曹



本部管理中隊 田代二曹



本部管理中隊 釣部一曹

表彰を受け、恐れ多いと感じるとともに、とても嬉しく感じています。今後も、全力で職務に邁進します。

山本三曹

基準砲の照準手及び施設機械操縦手として更なる練度向上に邁進していきます。

田川三曹

全員がやるべき事を行い、最後まで火力戦闘を継続する事ができました。今後も中隊に貢献していきます。

石嶋三曹

繰り返し訓練を実施して、練度を高め、検閲を受閲する事が出来ました。組員とともに更なる向上を図ります。

火力運用を皆と一丸となり行い、成果獲得に微力ですが貢献できて良かった。

小隊が一致団結して、築城からの防御戦闘等多くの成果を残せた事を非常に嬉しく感じます。

## 令和元年度 隊優秀隊員表彰受賞者



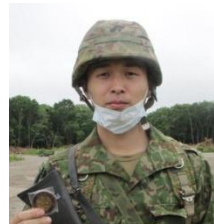
部隊及び中隊の皆様の御協力により、隊の優秀隊員表彰を受賞する事が出来ました。今後も特科隊の精強化に微力ですが貢献できるように日々精進します。

第二中隊 阿武二曹

## 旅団最先任上級曹長メダル受賞者



第三中隊



第二中隊



第一中隊



本部管理中隊 大岡士長

諸先輩方のご指導と班員達の協力により、表彰を受ける事が出来ました。今後も努力を重ねていきます。

中村三曹

練成の成果を發揮し、継続して、戦闘をする事ができました。砲手として、更なる技術の向上を目指します。

實田士長

各砲班長と連携をし、練成を積み重ね、中隊一丸となり、隊検閲に臨むことができてよかったです。

須和二曹

初めての訓練検閲で、多くのことを学ぶことが出来ました。部隊に貢献できるように頑張ります。

## 11特OB会

### 新隊員への激励品の贈呈

11特OB会は令和2年7月9日、特科隊グラウンドにおいて行われた、隊昼礼にて、第139期新隊員特技課程及び一般陸曹候補生課程並びに特技変換教育者に対して、激励品を贈呈した。

当初、新隊員は一人ずつ壇上上がり、それぞれが個性豊かな自己紹介を行い、特科隊の隊員が見守る中、元気潑刺とした姿を見せた。

紹介後、11特OB会を代表して副会長笠原氏から、激励品を贈呈するとともに、「暑さに負けずに頑張ってください」と激励し、新隊員全員から、大きな「ありがとう」が響きわたった。



▲激励品の贈呈



▲元気潑刺な姿を見せた新隊員達

## 令和2年度自衛官等募集内容

- ・一般幹部候補生  
資格:22歳以上26歳未満の者
- ・一般曹候補生  
資格:18歳以上33歳未満の者
- ・自衛官候補生(男子)  
資格:18歳以上33歳未満の者  
受付期間:年中行っております。  
試験日:受付時にお知らせします。

防衛省自衛隊札幌地方協力本部南部地区隊  
〒005-0008 札幌市南区真駒内17番地  
携帯 070-6589-0123  
広報官 藪本1曹(元第11特科隊)





# 七月昇任者

- 三等陸佐へ
  - 吉田 悠 (隊本部)
- 二等陸尉へ
  - 宮崎 柁勝 (本部管理中隊)
  - 小門 佑輔 (第一中隊)
  - 山田 貴紀 (第三中隊)
- 一等陸曹へ
  - 小倉 俊樹 (本部管理中隊)
  - 川上 健 (本部管理中隊)
- 二等陸曹へ
  - 松澤 寛幸 (第一中隊)
  - 能代谷 太希 (第一中隊)
  - 三浦 義弘 (第二中隊)
- 三等陸曹へ
  - 三浦 悠希 (本部管理中隊)
  - 角田 むつみ (本部管理中隊)
  - 小林 翔太 (第二中隊)
  - 吉川 誠一郎 (第三中隊)

昇任おめでとう  
 ございます。  
 更なるご活躍を  
 期待いたします。

# 八月転出者

- 隊本部
  - 三等陸佐 目野 友治
  - 第八師団司令部 (北熊本) へ
- 本部管理中隊
  - 一等陸曹 伊藤 正明
  - 補給統制本部 (十条) へ
- 第一中隊
  - 一等陸曹 小倉 俊樹
  - 第十一旅団司令部付隊 (真駒内) へ
- 第二中隊
  - 二等陸曹 松崎 裕二
  - 第十一旅団司令部付隊 (真駒内) へ
- 第三中隊
  - 二等陸曹 杉澤 慶三
  - 岩見沢駐屯地業務隊 (岩見沢) へ
- 第二中隊
  - 三等陸曹 安代 勝信
  - 北部方面情報隊 (稚内) へ
- 第三中隊
  - 一等陸尉 光永 聡
  - 第十一旅団司令部 (真駒内) へ
- 第二中隊
  - 二等陸尉 山田 貴紀
  - 北部方面情報隊 (札幌) へ
- 第一中隊
  - 一等陸曹 麻山 隆司
  - 郡山駐屯地業務隊 (郡山) へ
- 第二中隊
  - 二等陸曹 高橋 努
  - 第二特科連隊 (旭川) へ

新任地での  
 ご活躍を  
 祈念いたします。

# 新着任

## 第八代 副隊長



二等陸佐 浅野 正仁  
 前勤務地 第八師団司令部 (北熊本)

# 八月転入者

- 隊本部
  - 三等陸佐 大槻 匡志
  - 第五特科隊 (帯広) より
- 本部管理中隊
  - 陸曹長 芳村 里士
  - 真駒内駐屯地業務隊 (真駒内) より
- 陸曹長 澤村 明由
- 第二特科連隊 (旭川) より
- 第一中隊
  - 一等陸曹 榎引 久美
  - 第一特科隊 (北富士) より
- 第二中隊
  - 一等陸曹 谷本 輝幸
  - 第十二特科隊 (宇都宮) より
- 第三中隊
  - 一等陸曹 太田 信幸
  - 第一一七教育大隊 (武山) より

二等陸曹 竹山 裕子  
 第四地对艦ミサイル連隊 (八戸) より

二等陸曹 村上 徹行  
 第二特科連隊 (旭川) より

三等陸曹 岡本 拓磨  
 第十二特科隊 (宇都宮) より

三等陸曹 鈴木 杏奈  
 東北方面特科連隊 (郡山) より

第一中隊
 

- 二等陸曹 武田 勝
- 郡山駐屯地業務隊 (郡山) より

二等陸曹 竹山 一紀  
 第四地对艦ミサイル連隊 (八戸) より

二等陸曹 菊池 文夫  
 北部方面総監部付隊 (札幌) より

第二中隊
 

- 二等陸曹 浦場 保
- 西部方面特科連隊 (久留米) より

二等陸曹 遠山 貴士  
 東北方面特科連隊 (岩手) より

三等陸曹 萱沼 亨併  
 第一特科隊 (北富士) より

陸士長 加藤 竜也  
 第一空挺団 (習志野) より

第三中隊
 

- 二等陸曹 五嶋 龍也
- 第五陸曹教育隊 (久留米) より

二等陸曹 茂木 雅靖  
 第一特科隊 (北富士) より

これからよろしく  
 お願いいたします。

# OBの方へ連絡とお願い

## 一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後も必要とされる方は、更新手続きをお願いします。

手続きに関しては、「特科隊広報・援護室」にて行っています。

電話〇一一一五八一―三一九一  
 (内線二六四七) 担当 嶋田

## 二 叙位及び死亡叙勲に関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によりて手続きを進める事になります。おり、この期間が限られており、叙勲が受けられなくなり、万が一ご本人が逝去された場合には、死亡日を含め五日以内に最寄りの防衛省各機関、部隊等へのご連絡をくれぐれもお忘れ無きようお願いいたします。

## 三 その他

第11特科隊隊舎一階において第11特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室を開設しております。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

電話〇一一一五八一―三一九一  
 (内線二六四五) 担当 天野